

企 画 名：知ろう！測ろう！つながろう！ 市民による東日本土壌ベクレル測定プロジェクト（Phase 2）

団 体 名：みんなのデータサイト運営委員会

## 1. 報告要旨

### 採取目標について

2015年4～9月で900カ所、同10月～2016年3月で600カ所、計1,500カ所の採取・測定を目標に、各地で土壌測定態勢を構築（土壌講習会開催一覧表を添付）した。2016年3月末現在の土壌測定数は、約1,900地点に達し、目標としていた1,500カ所を上回ることができた。

### 測定結果の掲載について

測定結果はウェブサイト上に掲載し公開している。都県別リストのほかにマップ形式での表示機能を強化するなど、一般の方々にとって分かりやすい表示を心がけながらサイトの改変を実施した。

主な新機能は以下の通り：

○都県別の拡大可能マップ＝17都県の測定結果（色別）俯瞰から見たい地域を拡大でき、採取地点の丸をクリックすることで地点の詳細情報（地点名、住所、Cs134及び137の測定値、測定日、ID番号）を閲覧できるようウェブ機能の構築を行った。

○都県別マップ＝採取地点上にマウスオーバーすることで、地点の詳細情報（地点名、住所、Cs134及び137の測定値、測定日、ID番号）を閲覧でき、クリックすることで緯度・経度を取得できる。また採取目標が完了したか、未完かが分かるよう、「採取完了・空白域表示」ボタンを設置し、採取協力をお願いしたい地域が分かりやすく表示されるようになった。

○17都県全域マップ＝17都県の傾向をマップで俯瞰できるほか、全体傾向の比較がしやすいよう、マップの下部に、都県ごとに汚染がどのように分布しているかを一覧で確認できるグラフを表示している。

### 成果発表会について

土壌測定データ集約の成果発表会を2回開催し、計約130人の参加があった。

2015年11月＝第一期活動報告と、第二期に向けて課題を共有した。各地域で採取したグループや測定室からどのように活動し成功した事例共有や意見交換を行った。

2016年3月＝これまでの調査結果の解析・発表を行った。今後1年間のプロジェクトの目標として採取が進んでいない空白域について注力することの確認と具体的方法について発表、交流を行った。大会として初めてゲストスピーカー（4名）も招き、「放射能の測定活動」や「データの見える化」についてスピーチをいただいた。

### みんなのデータサイト土壌プロジェクト情報発信記録

◆ブログ朝日新聞掲載報告 [http://minnanodatasite.blogspot.jp/2016/04/blog-post\\_18.html](http://minnanodatasite.blogspot.jp/2016/04/blog-post_18.html)

◆みんなのデータサイト Facebook ページ <https://www.facebook.com/minnanodatasite/>

◆みんなのデータサイト ブログ <http://minnanodatasite.blogspot.jp>

## 2. 成果物

1. 採取講習会実施記録

2. 「[放射能汚染の有無、東日本で調査 協力者募集](#)」河北新報（2016.4.25）

3. 「[東日本土壌ベクレル測定プロジェクトの活動について](#)」ラジオジャーナルインタビュー（2015.5.4）

4. 「[石丸偉丈さんインタビュー](#)」通販生活公式サイト（2015.5.12）

5. 「[ニュースオプエド](#)」出演（2015.6.12）

- |   |
|---|
| 6. 「データがつなぐネットワーク『市民放射能測定 4 年間の軌跡とこれから』—放射性物質が降り注いだ食品と土壌をみつめて—」発行協力 (2015.8.25) |
| 7. <a href="#">コミック版 市民による「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」虎の巻!</a> (2015.10.10)              |
| 8. <a href="#">採取説明動画</a> 作成 (C-ラボ) (2015.11.22)                                |
| 9. 1700 データを超え、 <a href="#">東日本地図にプロット</a>                                      |
| 10. チェルノブイリの 4 ゾーンとの <a href="#">仮比較ページ</a>                                     |